

授業と評価の年間計画

教科	データサイエンス	科目	データサイエンス	
使用教科書（発行所）	独自教材			
履修条件 対象生徒	必修 普通科 2年			
学習目標	1年次のデータサイエンスにおいて学習した統計的課題研究の手法を活用して、社会における課題を論理的に解決したり、新しい価値を創造したりしようとする姿勢を身に付けるとともに、課題研究を通して自らの興味・関心の幅を広げ、キャリアデザインに役立てる。			
学習方法	<p><b>【授業】</b> 興味・関心のある分野別の講座に分かれ、自らが導いたリサーチクエストから、課題研究を行う。統計的課題研究の手法を実践することによって、論理的な思考力、表現力を身に付ける。各種発表会等に参加し、プレゼンテーション能力を身に付ける。進路希望に応じた研究内容を選択することで、自身のキャリアデザインに役立てる。</p> <p><b>【家庭】</b> 普段から、社会における課題に対する関心を高め、情報の収集に努める。プレゼンテーションやポスター・研究論文などの成果物を提出期限に間に合うように作成する。将来の進路についての意識を高め、キャリアデザインに役立てる。</p>			
学習計画 と ねらい	1 学期 1 探究の方法 2 グループ別研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション、出品計画などを行う。</li> <li>・各グループで調査・研究をする。</li> </ul>		
	2 学期 3 研究のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究内容を論理的に構成し、表現する力を養う。</li> </ul>		
	3 学期 4 発表・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表や質疑応答を通して、プレゼンテーション能力を養う。</li> <li>・1年間の振り返りを行い、キャリアデザインに結び付ける。</li> </ul>		
評価規準	知識・理解	技 能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	データサイエンスの意義や基礎的な知識や手法を理解し、知識を身に付けている。	適切な手法を用いてデータ分析を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	データを適切に処理し、結果を論理的かつ客観的に分析・考察し、的確に表現することができる。	社会現象や自然現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	①取り組む姿勢、②研究論文、③定期考査、以上を総合的に判断して評価する。			
その他	スーパーサイエンスハイスクール指定校である本校独自の学校設定科目である。			